



第 395 号 平成 23 年 6 月 1 日

発行所 京都市学校医会

京都市中京区間之町通竹屋町下ル

楠町 601-1 こどもみらい館 2 階

T E L (075) 256-0351

F A X (075) 241-3568

発行人 奥村正治

いかに接種勧奨が大切か

会 長 奥 村 正 治

本年も学校医の先生方には、MR（麻疹・風疹）ワクチン集団接種のお世話になっており、感謝申し上げます。予防接種の基本は集団接種ではなく、個別接種が基本である事は言うまでもありません。昨年（平成22年度）のMRの接種率の結果が出、ある条件を整えば、基本の個別接種で十分でないか？という数字が出た様に思いますのでお知らせをいたします。

5月の10日過ぎ、京都市保健福祉局より3月のMRワクチンの接種数が確定し、平成22年度の総接種率が決まりました。各医療機関で接種をしていただき、国保連合会に接種券を提出されるのが4月の10日まで、その後、国保連合会にて正しく接種されているか（年令等）をチェックされ、それが市保健福祉局に届いて、最終数字が出るわけであるが、この間約1ヶ月、数字が早く必要な為、急いで作業をしていただいた。市保健福祉局の担当の方々に御礼申し上げます。その数字を開いてみると、Ⅰ期98.4%、Ⅱ期95.7%、Ⅲ期97.8%、Ⅳ期74.1%となっている。平成21年度と比較すると、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ期とも上昇している。又、目標の95%をこのⅠ、Ⅱ、Ⅲ期はクリアした事になる。一昨年度はⅢ期のみ95%を超えた。集団接種が大きな要因と考えていたが、22年度の数字を見るかぎりでは、Ⅰ期、Ⅱ期に関わる方々の接種勧奨が非常に有用であったと考えられる。

Ⅰ期は、小児科医の勧奨が一番大であると思われるが、保健センター等での乳幼児健診等の時に、保健師さん達の勧奨が大きかったと考えられます。又、

Ⅰ期は保護者の方の意識も「接種しないと」「接種しないと」と言う事も底上げにつながっているでしょう。Ⅱ期は小児科等の医師の勧奨はもちろんの事、校医の行なう小学校入学前検診の時に母子手帳のチェック等を通して、保護者に「未接種ですから3月までに受ける様に」という一言が関係していると思われる。幼稚園や保育園の先生方の取り組みも見逃せない。園が中心になり、未接種の園児をさがし出し「接種する様に」と云っていただいた点も、大いに底上げをしたと思われる。

又、Ⅱ期、Ⅲ期、Ⅳ期には、23年2月22日に未接種の保護者に市保健福祉局より、接種勧奨のハガキが該当家庭に郵送されている。表2～4が物語っていると思われます。これも市保健福祉局がやっと腰をあげ、接種台帳を作ったという事が郵送を可能にした事になる。

Ⅳ期は学校における集団接種を行っていないが、そのせいで低値になっているわけではない。関係者の心意気を期待するしかない。（ただ本年のみやっと可能になるわけであるが）今までは高校2年生で、学校行事等で海外研修に向向く高校生には、費用を個人負担でMRあるいはM接種を済ませ、研修旅行等に出て行かなくてはならない。この数字がいくらあるのか不明であるが、Ⅳ期に上乘せしないと正確なⅣ期は出てこない。22年度もⅣ期は74.1%となっているが、正しくはもう少し上の方の数字になっているはずである。

表1 麻しん予防接種第1期

	平成22年12月	平成23年1月	平成23年2月	平成23年3月
MRワクチン接種者数(人)	927	1,032	1,070	1,124
麻しん単抗原ワクチン接種者数(人)	1	0	0	0
麻しんワクチン接種率(%)	69.2%	78.5%	88.2%	98.4%

表2 麻しん予防接種第2期

	平成22年12月	平成23年1月	平成23年2月	平成23年3月
MRワクチン接種者数(人)	474	567	663	1,775
麻しん単抗原ワクチン接種者数(人)	0	0	0	0
麻しんワクチン接種率(%)	68.6%	73.7%	79.7%	95.7%

表3 麻しん予防接種第3期

	平成22年12月	平成23年1月	平成23年2月	平成23年3月
MRワクチン接種者数(人)	89	85	103	454
麻しん単抗原ワクチン接種者数(人)	0	0	0	0
麻しんワクチン接種率(%)	92.4%	93.1%	94.0%	97.8%

表4 麻しん予防接種第4期

	平成22年12月	平成23年1月	平成23年2月	平成23年3月
MRワクチン接種者数(人)	390	309	726	2,128
麻しん単抗原ワクチン接種者数(人)	2	0	2	15
麻しんワクチン接種率(%)	47.2%	49.8%	56.0%	74.1%

校医の大半の先生方は、自院で予防接種をなさっていると思います。23年5月20日より変化のあった所を私なりに理解した点を書いておきます。

1) MRの高校2年生生年令の接種(海外へ研修旅行等に行く)が可能に!! 注:23年度のみです。

集団接種で接種費用が格安になった為、その予算の用途について前会長の長村先生が、国よりも先取りして高校2年生の海外研修組の生徒さんにはMR接種を公費で行なう。という案を集団接種の始まる前より声を大にして言っておられました。定年で退職なさった市保健福祉局松井局長がその案には「ウン」と言わなかった為に、京都市が中味のある事業を先取りできなかったが、やっと国がOKの案を出した為、この1年しかないが、長村前会長の念願がやっとかなったという結果になった。又、京都市ではめずらしく、接種をした人の接種券には、添付する書類はなしで良いとの事です。医療の事務量が増えなくて良かったと思っています。

2) 日本脳炎の接種年齢に×がなくなった。

平成7年6月1日から平成19年4月1日生れの人にかぎり、(この誕生日に注意して下さい。)7才6ヶ月~9才未満、13才以上20才未満でも、日本脳炎の接種が可能になりました。今まで年令で日本脳炎が出来ませんよ!!という年令でも接種可能になりました。注:上述の期間内に生れた人にかぎりです。13才以上の場合、新しい予診票を使用して下さい。新しい予診票が完成しておれば、1人受診で接種可能となりました。新しい予診票で記入された方にかぎりです。接種回数・間隔等はこれから出るQ&Aを参照して下さい。

3) D.P.T接種の年令の方で、百日咳り患の為、D Tで摂取を希望した場合は、1期の初回DTの3回接種ではなく2回接種に変更する。

4) 東日本大震災の方の特例接種

23年8月31日までの間は、年令がオーバーしても定期の予防接種として接種可能となりました。注:具体的には市保健福祉局に接種しても良いか?という事をたずねて(TEL等で)行なって下さい。

新 任 校 医 挨 拶



安野 哲也
(御所南小学校)

中京区、寺町三条のやすの医院の安野です。小児科・アレルギー科を専門としております。このたび、御所南小学校の校医をさせていただくことになりました。

クリニックの近くの小学校で、よく知っている学校です。児童の数が多く、活気のある小学校だと伺っております。子どもたちがどんなにすごいパワーを見せてくれるのか、楽しみにしております。学校、地域と一緒に児童たちの健康増進を図っていければ、小児科医としてもうれしいことだと思っております。

児童の健康に関して、学校が取り組まねばならないことが増えてきている現状は認識しております。しかしながらこれは難しい問題が多く、右も左もわからない浅学菲才の身には大きな課題です。学校医の諸先生方、学校の教職員の皆様方にご迷惑をかけることも多いかと存じます。しっかり勉強させていただくつもりでおりますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

松本良文 (御所南小学校)

この度、平成23年4月から御所南小学校で校医をさせていただくこととなりました。

平成20年から中京区の足立病院小児科で勤務させていただいております。

勤務医が学校校医をさせていただくことは、あまりなかったようですが、少しでも地域医療に貢献出来ますよう努力して参ります。

まだまだ経験不足でございますので、先輩諸先生方のお力をお借りして職務に励みたいと思います。今後とも何とぞ宜しくお願い申し上げます

田中淳夫 (修学院中学校)

平成23年度から修学院中学校の校医をさせていただきます、田中淳夫です。京都市学校医会の皆様、よろしく願いいたします。

さっそく4月中旬に集団検診をしました。検診は、滞りなく何とか出来ました。

しかし、集団検診ができなくて当院に来ていた生徒たちの（不登校を含む）フォローを、だれがやるのか少し心配です。

7月には、MRワクチンの集団接種を控えていますが、とにかくひとつひとつこなしていこうと思っています。皆様のご指導をよろしくお願いいたします。



谷口浩一
(百々小学校)

この度、百々小学校の校医をさせて頂くことになりました。昭和60年に関西医科大学を卒業、平成8年から内科・小児科医院を開業し今年で15年目になります。

3人の子供がみな百々小学校にお世話になり、末娘が今年3月に無事卒業したところです。何か恩返しができないかと思索していたところ、前任の宮田健先生が退任なさると聞き渡りに舟と応募した次第です。

新任校医研修会でご指導いただいたように、養護教諭の先生と円滑なコミュニケーションをとるように常に心がけ、微力ではありますが校医の務めを果たしていこうと思っております。今後とも諸先輩方のご指導ご鞭撻よろしく願い申し上げます。



真多 浩子
(西野小学校)

平成22年10月1日から、山科区で内科診療所を新規開業致しました、真多浩子と申します。縁あって平成23年4月から、西野小学校の校医を務めさせて頂く事になりました。

昭和62年大阪医科大学を卒業、京都府立医科大学内分泌代謝学教室にて学位を取得し、京都第一赤十字病院、大阪鉄道病院で糖尿病専門外来に従事しておりました。現在は開業医として、小児疾患にも対応致しております。

今までの経験を基に子供達の健康増進に微力ながらお役に立てればと考えています。若輩者ですので、今後とも宜しくご指導ご鞭撻のほどお願いします。



古谷 昌則
(南太秦小学校)

この度、南太秦小学校の学校医をさせていただくこととなりました古谷と申します。

母校である小学校の校門をこのような形で再びくぐらせて頂けることとなり、大変うれしく思っております。

意欲的に取り組んでいきたいと考えておりますので、諸先輩方におかれましてはご指導を賜りますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

大杉 隆正 (梅津中学校)

平成23年4月より梅津中学校の校医を再度させて頂くことになりました。前回と同様、3年間の短期間での交代で、何かと行き届かないところがあるかも知れませんが、諸先生方及び学校関係者皆様の御指導と御協力のもと、微力ながら地域医療の為に貢献できるよう努力したいと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。



田代 博
(蜂ヶ岡中学校)

この度、母校である蜂ヶ岡中学校の校医に就任致しました。

京都府立聾学校の校医は、10年余り続けておりますが、それと較べて生徒数の多さにとまどっていません。とはいえ、私達団塊の世代の頃は、1クラス55名、1学年19クラスでしたから、今はその4分の1でしかありません。

生徒の頃の話をしめすと、校長先生も保健室の先生もひどく驚かれます。

保健センターでのワクチン接種、福祉事務所での介護認定審査会と合わせて、乳児から後期高齢者まですべての年代の方を相手に仕事できることを嬉しく思います。

奥村会長を始めとする役員の方、先輩の諸先生方、先生方にもいろいろと教えて頂きながら任務を全うするつもりです。どうかよろしくお願い申し上げます。



矢野 信吾
(新林小学校)

4月から新林小学校の校医を勤めさせていただくことになりました。

早速ですが、4/19に学校検診に行ってきました。校門に入って、すぐ右手にウサギ小屋、左手に池があり、休み時間のため元気に走り回っている子供達の姿もありました。以前より随分と生徒数は少なくなったようですが、子供たちのエネルギーを感じ、30年前に通学した日々を思い出し、懐かしく温かい気持ちになりました。

今年からは子供達、先生方にもご協力いただきながら、校医としても地域医療に携わり精一杯頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



柏原 まこと
(深草小学校)

この度、母校である伏見区の京都市立深草小学校の校医をさせていただくこととなりました。

主に消化器内科医として病院勤務をしておりましたが、平成19年7月から深草学区内で診療に従事しています。早速、恩師や友人を懐かしく思いながら小学校をお尋ねし、養護教諭の先生や校長先生からお話を伺い、また、定期健康診断を順次、させていただいています。校舎が建て替えられ、児童数は少なくなり、また、社会環境も変わり、改めて時代の変化を感じました。校医として子供たちの健康と成長に少しでも貢献できますよう、努力していきたいと思っております。諸先輩先生方、学校関係の方々には、何かとお世話になり、お教えいただくことばかりと存じます。

今後ともよろしく、ご指導、ご鞭撻のほどをお願い申し上げます。



小島 央
(栗陵中学校)

この度、京都市立栗陵中学校の校医をさせていただくことになりました小島と申します。

現在、伏見区で開業医をしている父の診療所に名前だけは在籍しておりますが、実際は定期非常勤で京都、大阪、滋賀といろいろな病院、施設で勤務させて頂いております。

専門は整形外科で、日本体育協会認定スポーツドクターです。

今年の学校検診は既に終了し、また今後運動器学校検診が導入されるそうですが、検診よりもしっかりと保健指導をしていくことの重要性を日々の診療で感じております。

学内で検診以外、校医の活躍の場がそれほど無いように感じていますが、できるだけ関わって行きたいと考えています。

今後、先輩諸先生方、養護教諭の先生方など、いろいろとお世話になることも多いかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

精神衛生研究会のご案内

「自閉症スペクトラム：ASD」「注意欠陥多動性障害：ADHD」「学習障害：LD」等の言葉を聞いたことはあるけれど、相談を受けたら？

今、学校では多くの担任・養護教諭が発達障害や摂食障害等の問題に直面し困っておられます。このたび、新しく学校医に着任された先生方にも、相談案件がありましたら、よきアドバイザーになっていただければ幸いです。

学校医会：精神衛生研究会では昭和53年より子供の心の問題をテーマに京都大学：青木健次教授を講師に招き、毎月1回抄読会を開き研修しております。年に3冊程度のゆっくりしたペースで青木先生の解説と時事の話題を織りまぜ進めています。ご興味のある先生がいらっしゃいましたらご参加お待ちしております。

6月からのテキストご紹介

「発達障害を見過ごされる子ども、認めない親」 星野仁彦 著 幻冬舎新書

場所：京都市学校医会事務局

京都市中京区間之町竹屋町下ル楠町 こどもみらい館2階 電話：256-0351 FAX：241-3568

日時：毎月第2木曜日 14：30～16：30

※初めて参加される方は、事務局へ日時の再確認をお願いします。

(講師の先生の都合等で変更されている場合があります)

第2回 常任理事会

平成23年6月4日
於 事務局

出席者 奥村会長，林副会長，井本専務理事，藤田・杉本各常任理事，星谷・鈴木各耳鼻咽喉科専門医会理事，長村監事

・会長挨拶

<報告事項>

1. 精神衛生研究会 5/13
2. 第62回指定都市学校保健協議会「内科・眼科・耳鼻咽喉科学校医合同研修会」並びに「懇親会」5/21 (次号)
- ・ 第62回指定都市学校保健協議会 5/22 (次号)
- ・ 6/1
- ・ 21 会平成23年 第1回 事会
- 6/ 杉本

<協議事項>

1. 校長会 懇 会 } 健康診断有所見
協議内 につ 7/16 } 紹介状 様
2. 市 懇 会 協議 } 日本脳炎
- 内 につ (日 未定) 達
- ・ 研究会 懇 会 } につ 協
- 協議内 につ } 議 定
- 7/23

- ・ 会 につ
- ・ 務 につ
- ・ 平成22年 に 定
- ・ につ
- ・ 理事会につ 8/6
- ・
- ・ 第33回 学校保健 協議会
- 於： 市 市

<関連学会・各種協議>

1. 第28回 都 科保健 6/5
於： 科 奥村
2. 21 会平成23年 第1回 事会
6/7 杉本
- ・ 精神衛生研究会 6/9
- ・ 都市 学校 会 会
- 6/ 保
- ・ 会 6/11 於： 都 田
- ・ 都市学校保健会理事会・ 議 会 6/21
- 於： 都
- ・ 都市学校保健会第1回 ・ ・研究・
- 各 会 6/21 於： 都
- ・ 6/21
- ・
- ・ 6/28, 6/30
10. 会 7/2
11. 第3回常任理事会 7/2 14:00

京都府医師会指定学校医制度 単位取得講演会のお知らせ

第11回京都「こどもの心とからだ」教育講演会

(日本 科学会 定 ・ 指定学校医

平成 年 月 日 (2

第 研修 (

健 成長を見守 成長曲線』

阪警察病院 副院長 望月 貴博 先生

② ・ 社・医療 場 をケアす ために

親 に、ほ よ 信頼関 を築 には 』

九州 学 学院医学研究院 身医学 芳賀 先生